

2015/5/7

千葉県 打ち合わせメモ 11 (電子メール)

千葉県幕張新サテライトオフィス 殿

宇留賀 英夫

平成 27 年 4 月 30 日 【施行】 回答 (270430)

後半部分【平成 27 年 4 月 5 日付のご質問等に関するもの】に関する

見 解

「人・回」：1 人でギャンブルに 10 回行けば 10 人で数えます。(延べ数)

「人」：1 人でギャンブルに 1 回行っても 10 回行っても 1 人で数えます。

1. どうしてまともに回答しないかの考察。

報告書の 113 ページ【考察】から引用

新規開発型ではマリーナ・ベイ・サンズと同規模(15,000 m²)のカジノを想定している。上記推計では利用者数が 651(万人)で、マリーナ・ベイ・サンズの 900(万人)の約 70%という結果になった。

今回は日本人のカジノ利用者比率を 25%(ギャンブル愛好家が 10%、その他が 15%)としたが、これをシンガポール並みの 37.6%(2011 年利用者数 195 万人 / 518 万人(人口))で試算すると、新規開発型の日本人カジノ利用者数は 669(万人)となり、外国人利用者と合わせると 916(万人)になる。

その場合の新規開発型のカジノ収入は、2,380(億円)となり、マリーナ・ベイ・サンズと同等の水準になる。IR 基本構想を策定する上では、規模ももちろんのことであるが、日本人の利用をどこまで見込むか、またそれを実現するための具体策(入場規制の在り方等)を検討することが必要となる。

前半の強調部分は「人」であることは問題ない。

後半の 195 万人 / 518 万人の 195 万人を考えて見みます。

まず 195 万は「人」か「人・回」(延べ数)かを判断しなければなりません。これは延べ数です。

根拠 1. 再度質問 20 に対する回答の後半部分

○補足しますと、この数値を外国人カジノ総利用者数(人)として設定し、試算を行っているので、数学的には、(1,800 万人 - 195 万人) / 1,164 万人 = 1.38 となります。

1,800 万人は報告書 112 ページでは 1,800 (万人・回) となっていますので延べ

数です。さらにシンガポールの全観光客 1,164 万人を越えてるので延べ数であることは言うまでもありません。従って 195 万人も延べ数でないと数学的に成り立ちません。

$(1,800 \text{ 万人} \cdot \text{回} - 195 \text{ 万人}) / 1,164 \text{ 万人}$ は数学的に成り立ちません。

$(1,800 \text{ 万人} - 195 \text{ 万人}) / 1,164 \text{ 万人}$ ではなく

$(1,800 \text{ 万人} \cdot \text{回} - 195 \text{ 万人} \cdot \text{回}) / 1,164 \text{ 万人}$ とすべきですがここではひとまず置きます。

根拠 2. シンガポールでの自国民の入場制限を ID でおこなっています。

- ・回数制限（一か月に 6 回以上入場した場合に、口座等を調査して、カジノ入場回数を制限、但し、調査は任意）
- ・それでも、カジノに入り浸るハードコアギャンブラー（78 歳女性、子供から立ち入り制限申請、その後も他人の ID カードを使用して 19 回入場していた）

日弁連資料から

<http://bakuchi.simousa.com/wp-content/themes/principle/download/日弁連.pdf>

これからも、195 万人は延べ数であることは間違いないでしょう。

195 万人 / 518 万人は延べ数を母数で割っていることになります。「人・回」であって「人」ではありません。パチンコに成人 1 億人全員が 2.75 回行くに相当する数字です。

要は、この報告書は「人・回」と「人」を区別する概念がなく制作されてます。

したがって、112 ページでは 1,800 万人・回だったり 1,800 万人だったりします。

質問 18, 質問 28 を始め他もまともに回答出来ないでしょう。全ては質問 18 から派生しています。質問 18 にまともに答えれば他は不要でした。

理屈、「一定の条件設定」がどうであれ外国人は全員が 1.38 回カジノに行くとの「報告書」は笑いものです。千葉市はそこまでしてカジノをやりたいのかと思われまます。カジノ賛成、反対を越えての問題です。千葉市民として肩身が狭い。

2. せっかくですから御回答頂いた質問の幾つかの見解を述べます。

質問 25 に対する回答の見解

報告書 113 ページの表で「新規開発型」の日本人、ギャンブル愛好者の「入込数」105 でなくここは母数 1050 ($= 105 / 0.1$) とすべきです。他は母数となります。そして、利用率は 10% とするのが正しい。そうすれば他との整合がとれます。

108 ページの下から 2 行目当たりからこれを考慮した数字 (1050) へ展開すべきでした。

138%の異常さに気がつかなかった一つの原因と考えられます。

10%は「人」です。138%は「人・回」です。因みに「人」では100%を超えることはありません。例えば、パチンコは年1回以上行く人は約1千万人です。成人は約1億人で10%としてます。仮に1億人、全員が複数回パチンコに行ったとしても100%です。100%を超えることはありません。

「利用率という意味においては、同じ概念です」は間違いです。

いまだに「人」と「人・回」が理解出来ないようです。

質問19. (再録)

「経済産業省のシンガポールIRに関するレポート」に

「カジノ利用者数 (1,800 万人)」の記述はありません。

あるとすれば何ページですか？

1,800 万人は報告書112ページで「創作」した数字のはずなのにレポートでもそうしたことがあるのか、何度みてもレポートにありませんでした。ネットから入手した手持ちのレポートが報告書のと一致してるかは確認してます。要は単純ミスです。

この単純ミスも認めないのは「公務員の無謬性」の極致です。因果な仕事（商売）ですね。

本件に関して <http://bakuchi.simousa.com/news25/> にもあります。間違いがありましたら指摘して下さい。私は「無謬性」とは無関係で、間違いが多い人間を自覚してますので謝罪のうえ訂正します。

今後は多分、貴サテライトオフィスに何らかのかたちで間接的・直接的に接触がありえます。そのときは対応をお願いします。これは序章です。

以上

